

★神戸の催し物ご案内

2月

★音楽★

★パルコンコンサート

2月19日(金) トリオのタベ

2月20日(土) 県民小劇場

2月21日(日) 県民小劇場

★鹿野祭ピアノ公開レッスン

3月1日(土) 7時 県民小劇場

1000円

★山口百恵

4日(日) ①12時半 ②3時半

神戸文化ホール S・四〇〇〇円

★真志悠フルートのタベ

5日(月) 6時半 県民小劇場

★アート・ブレイキ&ジャズメッセンジャーズ

6日(火) 6時半 神戸文化ホール

1000円 B・二〇〇〇円

★伊集院良

10日(土) 6時半 神戸文化ホール

1000円

★伊集院良

10日(土) 7時 県民小劇場

1000円

★内山田洋とクールファイブ

23日(金) 6時半 神戸文化ホール

1000円 民音/会員・二二〇〇円

★桑名正博

27日(火) 6時半 神戸文化ホール

1000円 前売/A・二〇〇〇円 B・一六〇〇円

★第11回あじさい音楽会

布野ゆき子・坂本環

★演劇★

★俳優座「マクベス」

8日(木) ①10時 ②6時半

11日(日) 1時半

12日(月) 14日(水) 6時半

神戸文化ホール 神戸労演/一

9000円

★第5回市民演劇祭

17日(土) ①2時 ②6時 神戸文化ホール 無料

★劇団四社会「天満のどやん」

25日(日) ①10時半 ②1時半

尼崎ビックロシアター 一般・一

〇〇〇円(当日・一三〇〇円)

小学生・六〇〇円(当日・九〇〇円)

4と5才・四〇〇円(当日・七〇〇円)

★今岡頤子リサイタル「雲の杜若」

1日(木) 6時半 神戸文化ホール

1000円

★もとまろ寄席・恋雅亭

10日(土) 6時半 風月堂ホール

1000円

★市民映画劇場

「はなれ警安おりん」

14日(水) 15日(木) 6時半

17日(土) 2時 神戸文化ホール

1000円

★第3回神戸能楽教室

17日(土) 1時半 湊川神戸能楽

1000円

★浪曲名人会

28日(水) ①2時 ②6時半

神戸文化ホール 民音/会員・

一五〇〇円

出演/京山幸枝若 天津羽衣 広

澤駒蔵 京山小円嬢 松浦四郎若

●愛読者招待席

神戸っ子読者在記の催しにご招待

★浦川宜也/バイオリン

3月17日(土) 6時半 明石市民

会館中ホール(10名様)

★狂言小劇場

3月20日(火) 6時半 神戸文化

ホール(20名様)

出演/茂山五郎・茂山千之丞・

茂山正義・古谷哲也・藤倉雅幸

ご希望の方は葉書に住所・氏名・

年令・職業を明記の上、神戸っ子

編集室・デ・オのタベ」係、「狂

言小劇場」の係まで

●愛読者優待席

神戸っ子読者在記の催しにご招待

★宮田隆リサイタル

7十七年度音楽クリティクク

ラプ新人賞と神戸灘ライオンズク

ラブ音楽賞を受賞したピアノの布

野ゆき子とソプラノの坂本環の受

賞記念コンサート

3月2日(金) 7時 神戸文化ホ

ール

一五〇〇円を一割引

★宮田隆リサイタル

神戸に在るフランメンゴダンス&

ギター演奏会、宮田隆の初リサイ

タル。二度にわたるスペインでの

修業の成果が期待される。

3月4日(日) 6時半 県民小劇

場 二〇〇〇円を一割引



前回演能の熊野

神戸能楽教室のご案内

能・狂言をより一層ご理解していただくための教室を始めました。

★第一日 2月17日(土) 能「高砂」 藤

井徳三「巴」 吉井順一、狂言「飛越」 藤

★第二日 3月24日(土) 能「縁正」 藤

井徳三「求道」 吉井順一、狂言「真尊」 藤

★第三日 4月7日(土) 能「盛久」 藤

井徳三「葵上」 吉井順一、狂言「十筆」 藤

会費八千円(三回通) 申込先神戸っ子



パリ夜会とアトリエへ

★月刊神戸っ子パリツアーから

●日航主催のパリ夜会に加って

パラディラタンの
夜は更けて

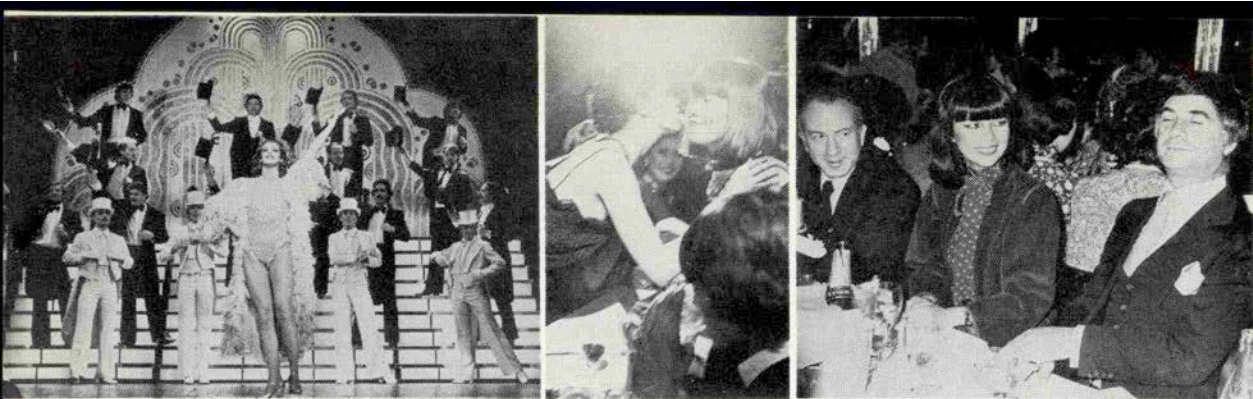
二十数年ぶりにお正月のテレビでフランス映画「肉体の悪魔」を観た。ああ、懐しいジェラル・フリリップ。こんなに良い映画だったのかなあ。少女時代に観た時



のシーンの記憶からは感じられなかった深い味わい。監督クロード・オータンララの名作。

女優ミシェル・ブレイヌの女っぽさ。肩のはったスーツに、羽の





左上「パラディラン」のショー。タカラズカと逢うのは男がホンモノ。中はシルビアクリステルにキスされる大里さん。お客さまのワイセンベルク。松本弘子。ブリアリ。右頁左は大内順子。クロージェヌ・オージェ。デビ夫人。ドモンジョ。右ファッションショー。

ついたキャノチエの網が、美しいプロファイルに愁いを落して…。

あれっ！なんだこのファッション。十二月の二日にパリのパラディランの夜会で観かけた「エマニエル夫人」のシルビア・クリステルの帽子と一緒。ドレスは黒で横顔は白くアンニュイだったけれどと思い出した。ジェラルド・フィリップとよく共演していたジャン・クロード・ブリアリの、少し銀髪のまじった中年のいい男の姿もあのパーティーで、ピアニストのアレクシス・ワイセンベルクと松本弘子と三人並んでいたっけ。今年の紅白歌合戦でも山口百恵を始め、あの手の帽子が流行していた。ファッションは、ノスタルジイの世界を、どこか新しげに復活してくる。うちの編集部の中村ちゃんだってトア・ロードのマキシニさんでプレゼントされた紺のシフォンキャノチエに羽をなびかせてパリの夜会に参加したのだから。デビ夫人や、ミレーヌ・ドモンジョや、クロージェヌ・オージェ、大内順子さんの華やかな姿に眼を見張ってそれとばかりにカメラを向け、サインを頼んで、それをきっかけにどつとばかりにファンがテーブルを囲んで大混乱おかしかったなあ。

岡田真澄の司会で、パリコレの主役たちのショーがくりひろげら

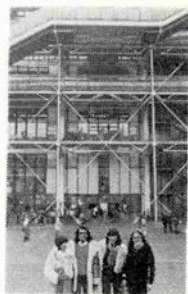
れ、私はなぜか三宅一生のゴールドだけのファッションが印象にのこっている。そして、不景気をふつとばそうとしてか、色はカラフル珍道中のような楽しさが感じられるショーだった。うっとうしい時代をディスコで踊ってぶつとばそうとしているのかな。

真帆しぶきと岡田真澄が共演して東京の博品館での上演に先がけて「シーソー」を30分に短縮して見せてくれた。スータンはさすが。パリでも垢ぬけして見えた。

プレゼントタイムにわがチームの「魔女」の、大里最世子さんがシルビア・クリステルから賞をうけてホッペにキスを。ラストにパラディ・ランタンの主役。この五〇〇人入る小屋を持ち演出・出演をするジャン・マリ・リビエールが、シユパリエのように巴里の粋を見せるエンターティナーぶり。かぶりつきで見えていた私はショーが始ってびっくりしたっけ。今までディナーのウエイターだった男性性まで出演してウインクして見せるのだから。小屋中の仕掛けが面白く、出演者の白、黒、黄色の人数多ふりと、男が女か、女が男か、混沌の摩訶不思議。あのエネルギーの油っこさ、日本人のお茶漬の味でなく、肉食人種の違いと判ったのはパリの市場の凄さを見てやっとな得したのだ。(小泉美喜子)

●パリのアトリエ訪問

パリで出会った 神戸の画家達



ボンビドー芸術センター

パリと言えど芸術の都。数えあげればきりが無い程の画家の名が思い浮かぶ。ピカソ、ユトリロ、ロートレック、佐伯祐三、藤田嗣治、ローランサン……そしてルブルをはじめとするこれまた訪ねていけば何日間も費やすだろう数々の美術館……過去現在多くのアーティストが息づいた町に、自分が立っていると考えただけで、零下何度という寒さにも忘れる五日間のミニパリ旅行の、最大の収穫は、パリ滞在中の神戸のアーティストのアトリエを訪れたことだろう。

単なる旅行者だったら、とても行けないアパルトマンに、その生活をかいま見ただけでも、印象深く有意義でした。そのひとこまを……。

サンジェルマン・デ・プレからTEL。「もしもし……」という訳で12月4日ボンビドー美術館のご案内をお願いした松宮武判氏是在パリ10年。奥様のキャトリースさんも版画家という二人は、メトロバスチーユ（そうあの革命のあったバスチーユ）にアトリエと住

まいがある。この町は一带が家具屋さんばかりで、どの店をのぞいても「本物のいい家具」が静かに並べられている。その関連の工房という職人さんの工場であったという、床にニスがたつぷり流れこんだ古い古いアパートが今は二人のアトリエで、Xマスカード大のシルクスクリーンが今制作中でした。ご主人の松谷氏は個展を終えたばかり、少し離れた自宅で拝見した近作は鉛筆でドローイングした作品（写真）ただし流れると題して流れられた鉛筆の跡は昔から松谷氏の追求しているコンセプトと同じで、あのパリの色を使つたシルク版画から白黒の世界へと

が、これには、デュッセルドルフから会いに来てくれた植松奎二氏も参加、ときならぬ神戸人大集合ということと勢いに乗って、今度は鄭相和氏にTEL。「そんなに大勢いるのなら我が家へ……」という訳で、一堂してビガールへ。

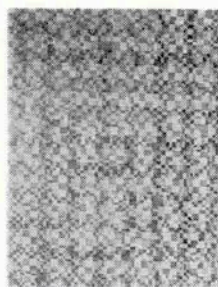
モンマルトルビガールというとこは知る人ぞ知る繁華街。夜の町なのです。鄭さんは神戸にいた時は新開地の映画館の上にお住いだった……ことを思い出し、またしても同じ環境のところに住んでい

はると思うと何となく人柄がにじみ出てドアを入る前から嬉しくなる。パリという町は中庭のあるアパルトマンが多いが、この素晴らしい環境？と背中合せとは思えないまたすぐ上品なアパルトマンで相変わらず「ボソボソと静かに話をする」鄭さんと一年ぶりの再会。

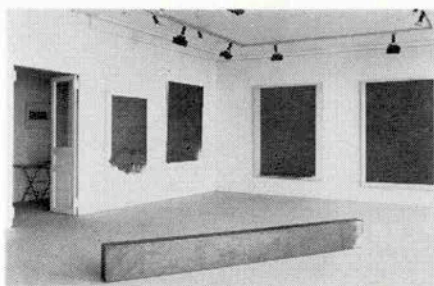
鄭さんは神戸に住む前はパリに住んでおられたから、延べにしては

目に入る色の世界を一步進めたものであった。

ボンビドー芸術センター訪問後に松谷氏のアトリエを訪ねたのだ



無題78—12 鄭相和



ギャラリーアランウーダン(パリ・レアル)松谷武判個展

パリ在5年位とか。

モノトーンの世界は昔からだが、今は鉛筆でのドローイングで白黒のモザイクで画面をおおような作品とか貼り込む作品とか、制作試作三昧の毎日。勤勉な氏らしく朝から晩までキャンパスに向かっている。久しぶりの再会に三人のアーチストの話がはずみ（健康法、ヨガの話、野球の話からとても真剣な芸術論まで）私たちの最後の晩（5日の夜）また鄭氏のアトリエで食事ということになった。

植松氏は同じくモンマルトルに住む神戸出身魚田氏のアトリエへ行き（植松さんは今年は忙しい年になりそうとか。ドクメンタも終わりフリーのキュレーター達の訪問も多かったらしく展覧会の予

定も大体決まり、9月には神戸に一時帰国する話もある）

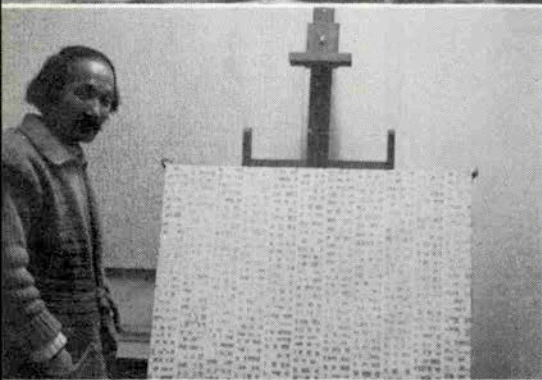
そして名残りの晩。遅れて鄭さん宅へ行った植松さんと私はビックリ、な、なんと神戸新聞の伊藤誠氏がいるじゃありませんか。まるで外国とは思えない楽しい晩にモンマルトルで活躍中の長尾さんという画家も参画して飲んで語って……。

ただ、やはり外国での暮しは、はた目で見る以上に厳しいことは事実で、制作自体には日本にいるよりいい状態できっと組めるが、それに生活するという事実が入りこんでくると厳しさに磨きがかかるようです。

実力派の人間がこれだけ集って世間話の中にチャラチャラとこぼれる厳しさは旅人的状態で聞いて

いる私たちには書きつくせませんが、それでも根っからの神戸っ子達らしく意欲的で明るくカラッとしている人々と作品に会うことができ、とてもラッキーでした。日本では個展というのは、画廊にお金を払いその場所を借りれば例え若い作家でも発表の機会がある。それが欧米ではフリーのキュレーターが活躍して企画展を組み展覧会の数も少ない。それだけに発表する数やチャンスに限りがある。どちらのシステムも一長一短だが頑張ってほしいという気持ちだ。

買物も、ショーも、町も、人も恵まれましたこの5日間。よその人が住むには住みにくいと定評のパリ、及びデュッセルの芸術家たちの健康と活躍をそして再会を楽しみにしています。△中村雅子▽



上：鄭さん宅にて深呼吸の方法を聞く。

中：鄭さんは、モノトーンの世界を追求中。

下：松谷さんの住まいにて、近作を囲んではいチーズ。



動物園飼育日記

亀井一成

ほんまもんチンパンジーへの特訓〈VI〉

神ちゃん、お熱いタッチング





日増しに仲良くなっていく2人(?)じゃれ合う写真をみてひがんでいるのは誰? 動物園にも愛のバレンタインデーがあるのです。

「あれ、神ちゃんが二人いる!」
「ほんまや!」 一つの間に、ふたりになったんや!」
入口からまっ先にとんでくる神ちゃんフアンの小学生

たち、
口を揃
えて、
二匹で
はなく
ふたり
といっ
てくだ
さって
いた。
哺乳
ビンで
ミルク
を飲み
スーパ
ーカー
やボー
ルや人
形を持
って遊

び、同じ年頃の小学生には我然ライバル意識をむきだし
オリの内と外でやりあってきたその神ちゃん(明けて五
才)に昨年十月お嫁さんのアキちゃんをやつてきたこと
をうっかり忘れていたのであらう。

いつものよう、大声で「神ちゃん、神ちゃん!」その
呼びかけが終わらぬうち、さ——眼にも止まらぬ猛ジ
ヤンプ。久しぶりの学童たちは何やら声さえ出して身体
を寄せる神ちゃん。三人連れのどの児もが顔いっぱい
笑いで神ちゃんに呼びかけていた。

だが、その直後、すげなく、反転したと思うと、さつ
と、もうひとりの神ちゃんいやアキちゃんの元へ、すつ
とんで行つた神ちゃん。こんどは、そろりとやさしく、
そのアキちゃんを抱きはじめたのである。

「あつそうや、去年の暮れ、神ちゃんにガールフレンド
がきたこと新聞やテレビで見たことある。おい神(呼
び捨て)ええぞう!」うれしい声援が暫く続いた。

「泣きベソに弱い男の子」

その日はからずもアキちゃん到着して満三カ月め、あ
れほどヒトの近づくのを嫌いオリの中へ入った僕に驚い
てウンチを出していたそのアキちゃん、なんとまあ!お
てんばこの上なし、ちよっと神ちゃんに抱かれたあとダ
ンダンダン、この子ほんまに女の子やろか!とうた
ぐりたくなるほど、両足広げあられもない姿、力まかせ



にしこ踏み運動。そしてばーつと、いま神ちゃんに呼びかけていた、その学童めがけで、とび蹴りをぶつつけてきた。

「あー恐ろしい。こいつほんまに女の子やろかノ神ノこんなやつに負けたらあかんぞ。それ頑張れ、やつつけてまえノ」

もはや学童たちには目もくれず、神とアキは、取っ組みあいの仲むつまじさ。その二人にこんな声援がとんでいた。

そして暫くののち「キヤーツ」ちよつと小さいアキが泣き声あげたと思えば、とたんに神は、そのアキを、ぐいっと胸いっばい抱いてやつてるじやありませんか。

いや、そればかりじゃあれしまへん。食事時のマナーなんか、もう、なにがなんだか分らん行動を見せるアキである。つい最近にもNHK科学ドキュメントで放映されたチンパンジーとその生活行動の一場面。「食事時の先取り権」という解説である。確かに当園の成獣たちにも見られる行動の一端でもある。先に手にした者の権利が認められ、それを横取りすることがないという説。

ところがである。満三才、少なくとも野生のルールを身につけてきたアキちゃん。欲しいとなると、さつと神ちゃんの口元からでも横取り、かっさらつては食べてしまふのである。なんとというこやつ。

「コラノアキ、あかんぞノ」
怒鳴りつけてやったらとたんに、キヤーツ大げさな泣き声。それにつられて、女の子に弱い神ちゃん、何を置いても、またぞろ、そのアキちゃんを抱きかかえてやるのである。

「身体で示しあうタッチング」
ところでそのアキちゃん、手をとって足をとってのご機嫌取り飼育の毎日。にもかかわらず、27キロと重たくなつた神は抱けても、アキちゃんを抱いてやることは全くできない。格子オリを開けたとたん、さつと逃げ去り、そのくせ私に寄り添う神に相変わらず嫉妬の毎日。遠く

でながめ動かない。いや仔細に見ると、何時の間にやら私の方にじみ寄る彼女、やつぱり神と同じことがして欲しいんやノアキ、そんなに怖がらんでええ、早よおいでノと、差し出す手に、かえつて怖がる。だが、そんな日々のある時、横向きの私に「パチン」何やらピンタがとんできた。あつ痛ノ誰やノひよいと振り向いたら、そこにアキがきていた。怖々のアキが生まれて初めて、人間の身体に触れたに違いない。パチン、パチン、パチン。続けさま私の頭やほほ、肩をたたいてきた。

そのふりあげる手を見て私はうれしくなった。おそろおそろふるう手は冷や汗をかくほど握りしめたまま、しかも手やヒジの外面でやつと私に触れていたからだ。よし、アキ、頑張つてもつとつとどついてこい。こうした毎日が信頼関係を育て、アキは日増しに落ち着きたした。

そして到着来一カ月、後ろ向き、そろりと尻から近づいてきたアキ、私のヒザの上にちよこんと座りはじめた。よしよし、アキはやつぱり神より小さいなあノと頬ずりしてやろうとしたとき、ドーン。神の足蹴りが、またぞろとんできた。「キヤーツ」アキの泣き声。と次にはまるで嘘のような泣きやんだ。見れば、ちゃんと神が抱いてやつているのである。

こうした相手に対する信頼関係を自分で体験し積み重ねなければならぬ彼等。その警戒心の強さに胸さえ痛む毎日がさらに進んだ。そして、つい先日の深夜、神とアキの寢床が明らかに近づいている。そろりそろり足音をしのばせ大接近、あつ、やつぱり、神が窓ぎわ、そのうち側に、そして寄り添うように、二人が寝ているじやありませんか。

神ちゃんの性成熟まであと三年。野生を知らない神、たどたどしい足どりで今、ほんまもんチンパンジーへと確かに歩を進めている。神もアキも頑張りやノ

△王子動物園学芸員ノ写真も△

こんにちは赤ちゃん



片山慎哉くん / 芦屋市清水町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大柵町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科 小児歯科

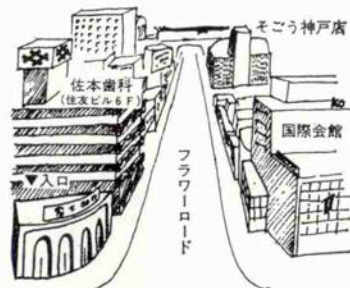
SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前9時30分
金曜日 午後1時30分
(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル6階
〒650 生田区加納町5丁目39
TEL (078)331-6302~3



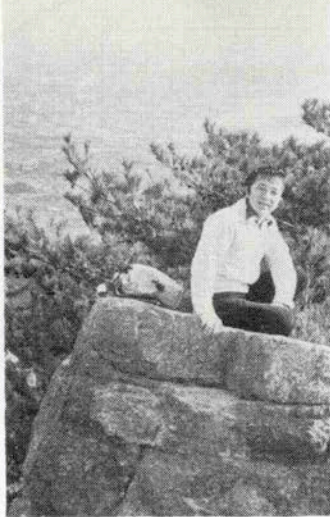
△その7▽一般向き

阪急岡本―風吹岩―本庄橋―一軒茶屋―有馬温泉

魚屋道追想

田辺 眞人△兵庫県立芦屋高等学校教諭▽

・六甲山100コース



風吹岩にて筆者

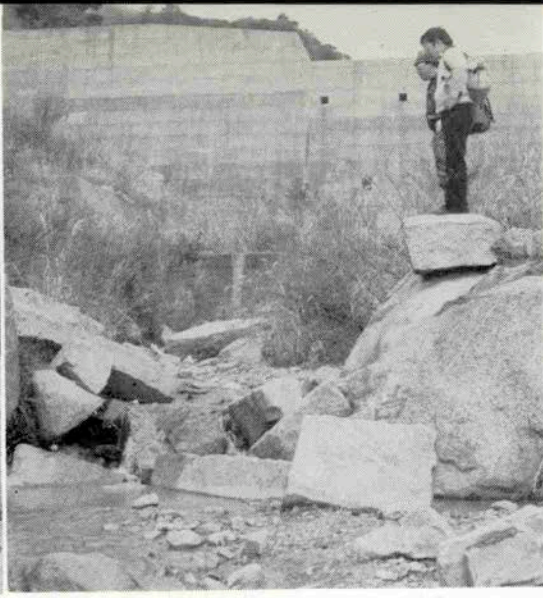
て有馬温泉に通じる山道をくつきり描いている。つまり、ハイカーでにぎわうこの道は、江戸時代初期にさかのぼる最古の六甲越えの通路のひとつであることがわかる。

その頃、灘地方から有馬に行くには、一たん西宮へ出、そこから北の小浜(宝塚市)・生瀬(西宮市)の宿場を経て蓬萊峽の谷を船坂・有馬と進んでいた。そこで灘の村人や有馬の町人は、この大江回をさけるために山越えの直行ルートを利用するのだが、同時にそれは、街道ぞいの宿場の商人にとっては打撃となる。そこで、寛文十年(一六七二)以来、江戸時代を通じてこの山道の歴史は、最短コースを利用しようとする地元の人たち自らの利益のためにこの山道を抜け荷の道として封鎖させようとする宿場の商人との闘いでいるとられてゆく。

神戸市東端で山に登り、風吹岩・東お多福山を越えて住吉川上流に出、本庄橋ちかくから一気に最高峰の東肩に登り有馬に至る「魚屋道」。この道の名に興味を覚えたのは中学生の頃だった。昆虫採集のために山に登り始めた私は、次第に六甲に心ひかれて、やがて毎週山歩きを楽しむようになっていた。その頃から、昔、この道を通して灘の人々が有馬へ水産物を運んだというガイドブックの記事が、みように懐かしい響きを私の心に残していた。やがて郷土史を学ぶようになった私は、古地図や古文書の中でこの山道に再会したのだ。

元禄一四年(一七〇一)の『摂陽群談』は「(六甲)山頭より有馬湯山に越道あつて六甲越と号す……兎原郡森村へ出る所也」といい、寛延元年(一七四八)の『摂津国名所大絵図』は、森村(東灘区本山町森)で西国街道から分岐して山中に入り六甲山上の石宝殿ふきんを通つ

とりわけ、文化三年(一八〇六)の争論は、現存する古文書によって、詳らかに再現することができる。訴え出た小浜・伊丹・尼崎・生瀬の商人たちは、「有馬の者が中心となり灘の青木まで三里の山道に、岩山を切り崩し谷川に橋をかける大工事を施して幅四尺から一丈の街道同様にし、日々、牛馬・荷物・旅人が密かに通っている。早速、抜け荷を禁じこの新道を破壊させるべきだ」と訴え出た。被告の有馬町や灘本庄九力村(現芦屋市内および東灘区の三条・津和・森・中野・小路・北畑・田辺・深江・青木)の側では、これは柴刈り道だとか谷川の土砂くずれに工事をしたのだと称して、新道修築の工事や抜け荷の件を否定している。結局、約半年後に「新



登山者に親しまれた本庄橋もいつの間にか無残に崩れていた。一日も早く修復してもらいたい。左はかつての本庄橋の姿。

規道は切埋め切広げ候道は以前の通り細道につかまわれ」と決裁が下っているが、その後もこの道の整備・通行は後をたらず宿場の商人は幾度も大坂奉行所に抜け荷の目撃を訴えている。灘の人々の切実な生活の歴史のしみこんだ踏み跡なのである。

明治維新で事情は一変する。自由な交通が始まり、こ

の交通路も榮えてゆくかに見えた。だが、近代交通の発達で皮肉にもこの道をさびれさせるのだ。明治七年開通の大阪・神戸間の鉄道が、三宮と西宮の間では住吉に駅を設けた。すると従来山道（これまで湯山間道とか六甲越えとよばれた）では鉄道との接続に不便である。そこで住吉川をさかのぼって駅から谷ぞいの道が拡張され、本庄橋で従来の山道に合流して有馬へと旅人は往来し始めた。この住吉道のにぎわいの一方で、湯山間道は本庄橋から風吹岩をへて森へおりる本道も、途中から分れて保久良山の東の谷を下る支道も、深い草におおわれていった。

祖先たちの智恵は、灘と有馬とを直線的に比較的楽なコースで結びつけた。そのためか今日も、ほぼこの道筋にそって、東六甲横断の中心的ハイキングコースが通じている。かつての往来を見守ったであろう古い山の神の石祠や役の行者の石像は路ばたの草むらにうずもれて、知る人も少なくなった。が、注意してみると、今の魚屋道ハイキングコースのわきには、しばしば、踏み固められた古道の跡をみつけることができる。また、住吉谷の上流、川と旧六甲越え道の交差点には深い山中にぽつんと巨大な本庄橋が残っていた。この石造の古橋は、最近まで灘の人々の生活の歴史を秘めて静かに、眠っているようであった。なぜか、山登りの人々は、この橋を見るとほっとして休息をとったものである。

本稿の取材のために久しぶりに東お多福山を越えた私は、数年前に崩れたという今の本庄橋の無残な姿を見て、強い衝撃をうけたのである。



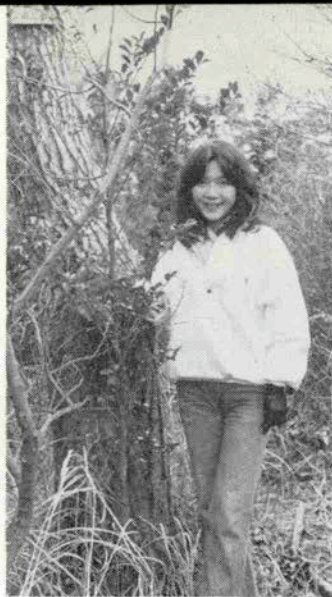
△その8▽健脚コース

有馬温泉—湯槽谷山—極楽茶屋—一軒茶屋—百間滝—有馬

・六甲山100コース

冒険べっこ、また楽し

杉本 昭子 △冒険家▽



湯槽谷山頂にて筆者

その日は前日までのぽかぽか陽気とは打って変り、朝から冷え込んでいた。歩けば寒さも吹っ飛んでしまうだろう。落葉山の石畳みの道を登り始める。有馬の人は妙見山と呼んで親しんでいる。西国三十三カ所のお地藏様を一番、二番と数えながら登って行く。中段の鳥居をくぐると十六番、やっと半分。しばらく行くと六甲の最高峰が見える。雪なのか頂上付近が白くなっている。階段を登りきるとそこがこの山のてっぺん。大い、ち、よ、う、の、木はすっかり葉を落して、はだかんぼう。弟がぎんなんの実を素手でつかみ、頭のてっぺんから足の先までかぶれてしまったことがあったのを思い出す。近所の子供達との肝試しでは、お化けが何より怖く、夜にはトイレにも独りでいけなかった私は、姉にしがみついて登り、ここまで来ると、ころがるように降りていったことなどなつかしい山である。有馬の子供にとっては開りの山も川も

全てが我家の庭である。家の中でままごと遊びなどしているひまがない。女の子だてらに、木登りは朝飯前。強そうな枝を見つけると、縄飛びの紐を結んでターザンごっこが始まる。今はフィールド・アスレチックがたくさんできているが、私達は手製のコースで一日中遊んでいた。もちろんブルもないので、滝の川が水泳場になる。石を並べて水をせき止めて子供ブルの出来上り。夏でも水は冷たく、五分もしないうちに唇がまっ青になる。後は日のよく当る大きな石で身体を暖める。今はもうそこで泳ぐ子供達はいなくなっている。ブルもあるし、六甲トンネルで海が近くなったからだろう。

落葉山から、はいだやま 灰形山を抜けて、湯槽山ゆわやまに向う。しばらく行くと道に霜柱がたっている。この山道は登るばかりで、しんどい。おまけにそこが頂上という所の坂が一番きつい。上を見ていては、足が前に進まない。足自慢の母が、今日はいえらくへたっているようだ。頂上で一服して、下りは、一気に湯槽谷まで降りてしまう。

パシヤ、パシヤ、霜柱の砕ける音がする。昼前だというのに。やがて、両側に笹が茂る道になる。頂上が近い。それにしても道が荒れている。折れた木が何本も横たわっている。

頂上からの海の眺めは抜群であった。大阪湾から和歌山まで見渡せて、海はきらきら金色に輝いて見えた。ふり返りふり返り眺めて来た裏の景色。どこまでも続く山の景色と好対照である。



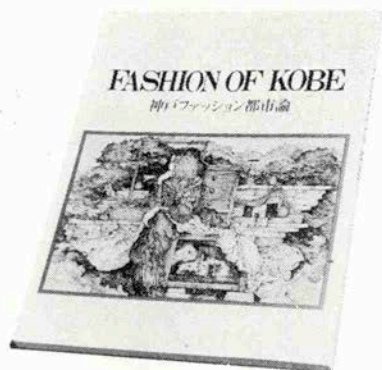
肌を切る冷気のなかで霧氷がとても美しい（白黒写真ではハッキリと判らないのが残念だ）

それにしても寒い。手はかじかむし、耳は切れそうに痛いし、顔はもう引きつっている。北風は、はだかの木にもどんどん霧氷の花を咲かせる。霧氷のトンネルの中では、歩くのをやめるとたちまち凍ってしまいそうだし歩いても歩いても冷い風が、身体の熱をどんどん吹き飛ばしていくようだ。

一軒茶屋でお弁当にした。おにぎりもうまくつかめなかった手もどうにか暖まってきたので出かけることにする。頂上の寒さに比べたら山道はいくらかは暖かい。魚屋道を降りかけたが、もうちょっと遊んで帰りたいと、吉高神社から四十八滝を通ることにした。ところがしばらく行くくと道がずれてしまっている。引き帰した方が良さいかとも思ったが、降り切った先の川原から道が見え

たので強行突破することにした。冒険ごっこが始まりである。強くてつかまり易い木の根を捜し、一歩づつ足場を確めてジグザグに降りて行く。「小安相滝」という道標が流れずにあった。滝は埋ってしまったのか、そこにはなかった。しばらくは川の流れにそって、右へ左へと川を渡りながら下って行った。小さな滝がいくつもあるので、滝に來ると山の方へ進路を変え、また川の方へ戻る。しかし楽な道はそう長くは続かない。突然、道が切れてしまっている。今度は前程簡単に降りられそうもない。ここで考えていても仕方がないと勇気をふるい起して絶壁に挑戦する。岩のでこぼこが少いので、足場を探すのに一苦労だし、つかまる木がないので、どうしてもへっぴり腰になってしまう。ここで弱音をはいては、有馬育ちがすたと悪戦苦闘の末なんとか降り切った。下から見るとまだ上の方で従妹が半泣きで岩にへばりついている。なんとか無事降りられた。向い側に比較的大きな滝があった。何という滝なのだろう。しぶきがもう凍って光っていた。この道がこんなに荒れてしまっているのは知らなかった。この後もう一度難所につかった。母が山猿の本領を発揮して偵察に行った結果、山の方から越える道を探すことにする。笹の林にもぐり込む。藤が足にからまるし、つかまった木が死んでいてつんのめりそうになる。はうようにしてなんとか道らしい道に出た。四時前だというのに、すっかり日が暮れてしまっていた。もう一時間遅かったらと思うとぞっとする。山の夕暮れは早い。





いま花ひらくファッション都市神戸

神戸ファッション都市の理念をここに凝結

明日の神戸を創る 127 人のリーダーが
情熱をこめて語る

FASHION OF KOBE

神戸ファッション都市論

自己主張のある余暇とファッション文化
神戸のモダンライフの流れを探る

ファッション都市は日常生活の集積から

スポーツライフがファッションをリードする

ファッション文化に不可欠な創造性

住むのに最高の町、日本の外国、神戸

神戸文化の背景は国際的モダニズム

ファッション都市づくりの核にメッセ(見本市都市)の設置を

ファッション都市はショッピングエリアから

ファッション都市の舞台装置を創る神戸の家具

洋菓子こそ神戸文化のパロメーター

全国の80%を集散する神戸の真珠業界

ファッションは生活のゆとりのなから生まれる

トータルファッションのなかの神戸シューズ

百年の伝統と世界的技術を誇る神戸の洋服

神戸の生活文化を培うデパートメントストア

ファッションナブルな神戸の魅力をつくる北野町界限

世界的な水準を誇る神戸の味覚文化

長期ビジョンをもったファッション都市づくりを

ファッション都市に必要な空港とホテルと見本市会場

ファッション情報センターの設置が急務

ファッション都市を創る人材を養成する

豊かな文化が経済活動のエネルギー源となる

既成市街地の整備と未来の海上都市の建設

あすの神戸、国際情報文化都市の創造を目指して

市内各書店にて好評発売中！

編集 / 月刊「神戸っ子」

発行 / コミュニティサービス株式会社

(〒650)神戸市生田区東町113-1大神ビル7F TEL. 078-331-2246

定価 1,200円
(送料 350円)

A4版 220頁

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

＜神戸のファッション都市化をめざす＞

K. F. S. news 41

事務局／神戸市生田区東町113-1

月刊神戸っ子内 TEL (078) 331-2246

Christmas Party '78

78年はデイスコ旋風でした。デイスコ・ファッションなんてファッションも登場、かつアダルト・デイスコなんていう氣取ったデイスコも作られて大人も大威張りで踊り狂えたこの一年、何でKFSのパーティがデイスコ以外の場所で開かれましょう！と、踊り疲れたクリスマス・パーティ'78だったのです。

入り口で男性には金の星、女性には銀の星のパッチを渡してキラリキラリと胸につけてもらって、キラリキラリ。ゲームをしたり、賞品があったりといったものようにパーティは始まりかけ……たのですが……。暑かったですねえ、熱いというよりも。踊るといことがそれはそれは美容によいと知ってか、フロアーいっぱい跳んだりはねたりしていた人、トラボルト擬でキマッた人、"アツイ、アツイ"と繰り返していた人。ともかくよく踊りました。勿論サンバの



リズムも登場で、その時にはフロアーいっぱい輪に広がって壁の花ならぬ椅子の重り（お守り？）で食べてばかりいた人も参加。ヘサタデー・サンバ・ビバ・ケイ・フェス（あとでバンドの人がビバ・KFSは歌いにくいよといっていました）とサンバ・デ・コウベの大合唱。最後はその日一番お気に入りのパートナー（残念ながら見つけられなかった人は適当に傍にいる人）とブルースで名残りの一曲を踊りました。

良い年の暮れでした。



12月15日於サントノーレ北野店

●JEANING TALK (19) ●ジーンズ仲間のジョイントタイム●

素直に感動したいワ

曾根辰夫 若宮てい子



★スポーツマンのMr.ベースマン

曾根 やあ、久しぶり。今どないしてるの。

若宮 去年の11月からNHK・FM放送の番組「朝のポップス」のDJをレギュラーでやってるの。

曾根 その番組は全国向けやね。

若宮 だから沖縄や北海道から便りがくると嬉しくって。でも朝が早いからチョッピリつらいんだけど……。ター坊は仕事が夜遅いから朝起きるのはどう？

曾根 まあ、適当に(笑)

若宮 お酒の方は。

曾根 あんまり飲めない。

若宮 私も。でも雰囲気は好きね。お酒飲んで演奏した方がノレルって聞いたことあるわよ。本当？

曾根 一度飲んで演ってエライめに会ったことあるんよ。途中で何演ってるのか分らなくなつて(笑) 若宮 「ソネ」って有名なアーチストがよく来るでしょ。去年もスコット・ハミルトンが来て演奏してたね。素敵だったわ。ター坊はずっとウッド・ベースだけど昔、ピアノ弾いてたわね。あの頃から影ながらあこがれてたのよ(笑) どうしてピアノからベースへ。

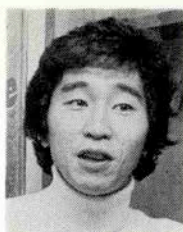
曾根 知らないうちに変わつたね。中学の頃クラシックピアノを演つてたし小さい時から音楽が好きだった。軽音楽部に入りたい

めに大学に入ったような位で(笑)
若宮 ター坊は演奏してる時、ス
ーツも似合ってるしラフな格好も
してるわね。スポーツマンのイメ
ージが強いんだけど、数年前アラ
スカまでスキーに行ったとか。



若宮てい子さん
NHK・FM、FM大阪ニ
等の活躍中のDJ。素顔
ワークで楽しい会話、素顔
も魅力的な女性。

曾根 スポーツの中ではスキーが
一番好きやね。やり始めて十年位
かな。ときどきジーンズ履いて滑
るよ。一月に競技スキーに出た。
若宮 かなり上手くないとなかな
かジーンズでは滑れないわね。ミ
ュージシャンってマイナーに走っ
てしまう場合が多いけどター坊は



曾根辰夫さん
「ソネ」ハウスバンドのアン
ペーシスト。理想のラウ
チストはレイ・ブラウ

スポーツもやり、笑顔も忘れず、
ハッピーで健康的な感じね。
曾根 どうも、ありがとう。

★ジーンズも洒落たバーティ服さ

若宮 奥さんとベアルックなんて
いかがかしら。

曾根 似たようなスタイルにはす

るけど同じものは着ないね。僕、
家ではコーデウロイ、ジーンズ、
ジョギングウェアを愛用してる。

若宮 私も家ではラフな格好だけ
ど外ではデイスコ調やファッショ
ナブルやら何でも好きなのを着て
るの。ジーンズも暇なときにボケ
ツトの色を変えたりビーズをつけ
たり、コチョコチョするのが好き
曾根 ジーンズもファッションの
中で定着してきたようなね。バー
ティでジーンズってのもいい。

若宮 安いものでも高いものでも
いいものはいいのね。一点豪華
主義で高価なものを買う気持ちも
わかるけど何故か浮いたような気
がするの。こだわらないで自由な
格好の方がいいと思うんだけど。

曾根 DJは幅広い話題が要るね
若宮 そうなの。今、興味もつて
るのが釣にゴルフ、それと映画。
古い映画から新しい映画と一生懸

●JOINT 情報●



3Fの特設ステージで唄う“狩人”

一日店長に狩人が!!

ジョイントファンにク
リスマスのビッグプレ
ゼント...若い女性に
人気の狩人が、さだま
さに続く第二号目の
一日店長として12月25
日来店。サイン会や特
設ステージでの熱唱と
大いにサービスをくり
ひらけた。若者の店ジ
ョイントのXマスらし
い熱気につまれた楽
しいひととき...、次
々と素晴らしい一日店長
の企画があります。乞
ご期待。

シーニクライフ・ジョイント

jjoint
JEANING LIFE
三宮・ジョイント
〒650神戸市生田区三宮南1丁目32番地

電話 (321) 2046
AM 10:00 PM 7

毎水曜休み